

フクビ樹脂製開口枠

「UB枠開戸 UR-165、135、115 4方枠Hセット」
 「UB枠引戸 UR-165、135、115 4方枠HWセット」
 「UB枠下枠 SR-146UD、116UD、96UD」

施工説明書

このたびは、フクビ製品「UB枠開戸・引戸UR4方枠セット・UB枠下枠」をお買い上げくださりまして有難うございました。下記の施工説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。

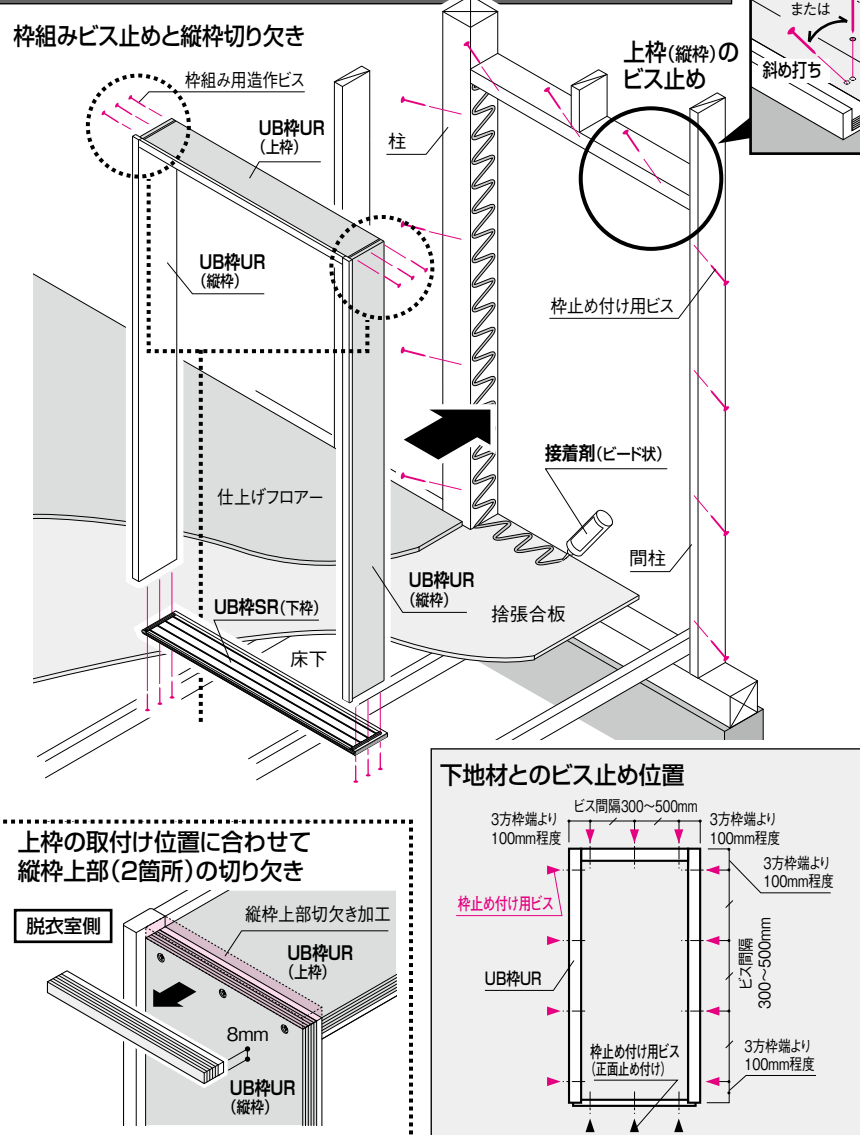
■設計・施工時の注意

- 注意**
- 製品の合板部固定は接着剤とタッカー釘止め併用になっています。切断の際にはタッカー釘によるケガや、鋸刃破損にご注意ください。
 - 本製品は「接着剤・ビス併用」にて木下地に施工してください。接着剤を使用しない場合、外れ、脱落によりケガをする恐れがあります。(ビス併用できない場所に施工する場合は、【7. 下地材とのビス止め 注意】を参照ください。)
 - 輸送時の破損を防ぐために、裏面合板の継ぎ目に若干の隙間を設けております。そのため、ビス止めをする際には、合板の隙間にビスが施工されないようにご注意ください。
 - 気温低下により製品に反りが生じる場合がありますが、施工に問題はありません。必要に応じて室温で保管し、表面温度を上げていただくことで、反りは徐々に緩和されます。

■規格

開戸UR4方枠セット		引戸UR4方枠セット	
呼称	セット内容	呼称	セット内容
開戸UR165-4方枠Hセット	縦枠 UR165H / 2,220mm×2本 上枠 UR163W / 800mm×1本 下枠 SR146UD / 834mm×1本	引戸UR165-4方枠HWセット	縦枠 UR165H / 2,220mm×2本 上枠 UR163W / 1,800mm×1本 下枠 SR146UD / 1,834mm×1本
開戸UR135-4方枠Hセット	縦枠 UR135H / 2,220mm×2本 上枠 UR133W / 800mm×1本 下枠 SR116UD / 834mm×1本	引戸UR135-4方枠HWセット	縦枠 UR135H / 2,220mm×2本 上枠 UR133W / 1,800mm×1本 下枠 SR116UD / 1,834mm×1本
開戸UR115-4方枠Hセット	縦枠 UR115H / 2,220mm×2本 上枠 UR113W / 800mm×1本 下枠 SR96UD / 834mm×1本	引戸UR115-4方枠HWセット	縦枠 UR115H / 2,220mm×2本 上枠 UR113W / 1,800mm×1本 下枠 SR96UD / 1,834mm×1本

■施工図



■製品図

部材	形状	梱包入数
上枠 UR163W UR133W UR113W	163・133・113 PVC E-PVC F★★★★タイプ合板(12mm)	1本 ●開戸セットの場合 L寸: 800mm ●引戸セットの場合 L寸: 1,800mm
縦枠 UR165H UR135H UR115H	165・135・115 PVC E-PVC F★★★★タイプ合板(12mm)	2本 L寸: 2,220mm
下枠 SR146UD SR116UD SR96UD	146・116・96 PVC E-PVC F★★★★タイプ合板(9mm)	1本 ●開戸セットの場合 L寸: 834mm ●引戸セットの場合 L寸: 1,834mm
防水テープ		1本 (両面テープ付き)

■あらかじめご用意いただくもの

- 枠組み用造作ビス(φ3mm程度、12本)
- 枠止め付け用ビス(φ3.8mm程度、約30本)
- 接着剤(酢酸ビニル樹脂系または変成シリコン系)
- 電動ドリルおよびドライバー
- ドライバー用ドリル刃(φ2~2.5mm)

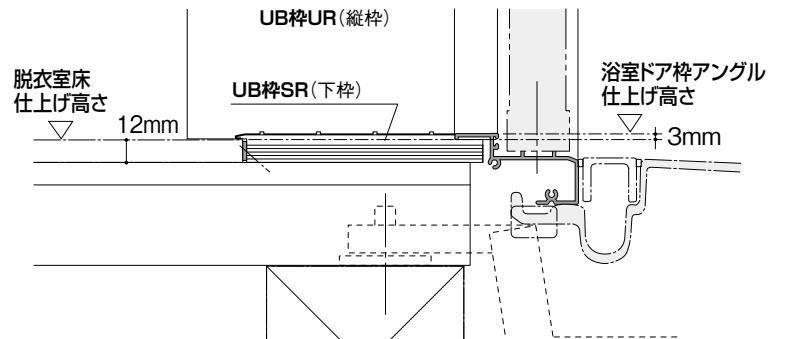
■施工要領

UB枠下枠 SR-146UD、116UD、96UDの施工要領は、手順3、4を参照ください。

1. 下地、浴室ドア位置の調整

UB枠URの厚み(17mm)に合わせて取付け下地と浴室ドア枠アングルの納まりを調整してください。また、UB枠下枠の仕上り高さは脱衣室床面から3mm高い設定となります。

- 注意**
- 取付け下地はガタツキがないように組んでください。
 - 浴室ドア床面アングルの仕上り高さを脱衣室床仕上り高さから3mm上の位置に調整してください。※脱衣室床は必ず12mm厚になるように仕上げてください。



2. 長さとの幅の切断

※詳細は参考納まり図を参照ください。

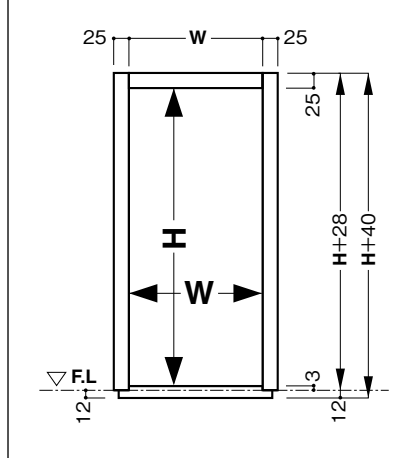
浴室ドア枠寸法と壁厚に合わせて、長さとの幅を切断します。

- 注意**
- 下枠は3. 下枠の溝加工を行って縦枠の下(下枠勝ち)に取付けるため、縦枠の厚さ(17mm×2)を加えた長さとしてください。
 - また、縦枠も下枠溝加工の深さ3mm分を加えた長さとしてください。

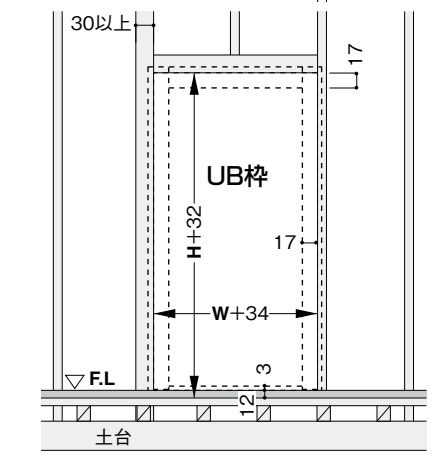
浴室ドア枠アングルとUB枠UR(下枠)の仕上げ面を面一とした場合

- 上枠: L寸 Wmm
- 縦枠: L寸 H+28mm(上枠厚25mm+下枠かぶり3mm)
- 下枠: L寸 W+34mm(縦枠厚17mm×2)

■UB枠加工寸法

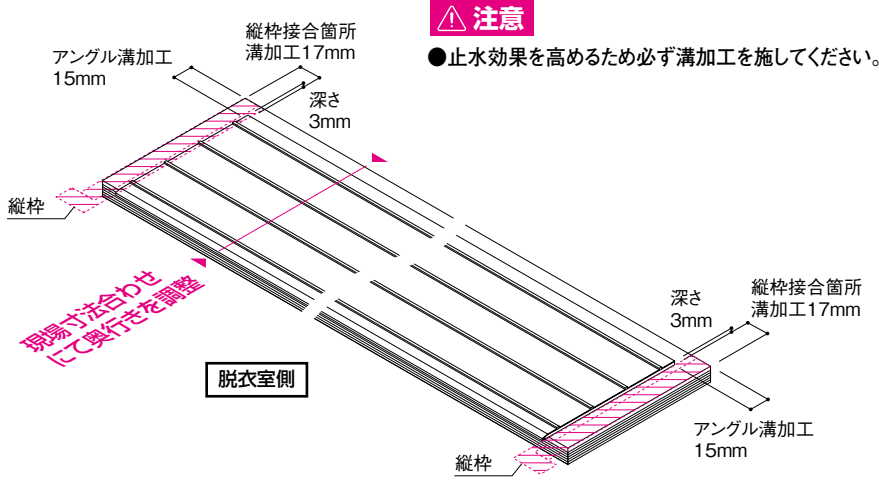


■下地木枠寸法



3. 下枠の溝加工

溝加工機などを使用して、下枠の両小口上面に幅17mm(縦枠の厚さ)、深さ3mmの溝加工を施してください。

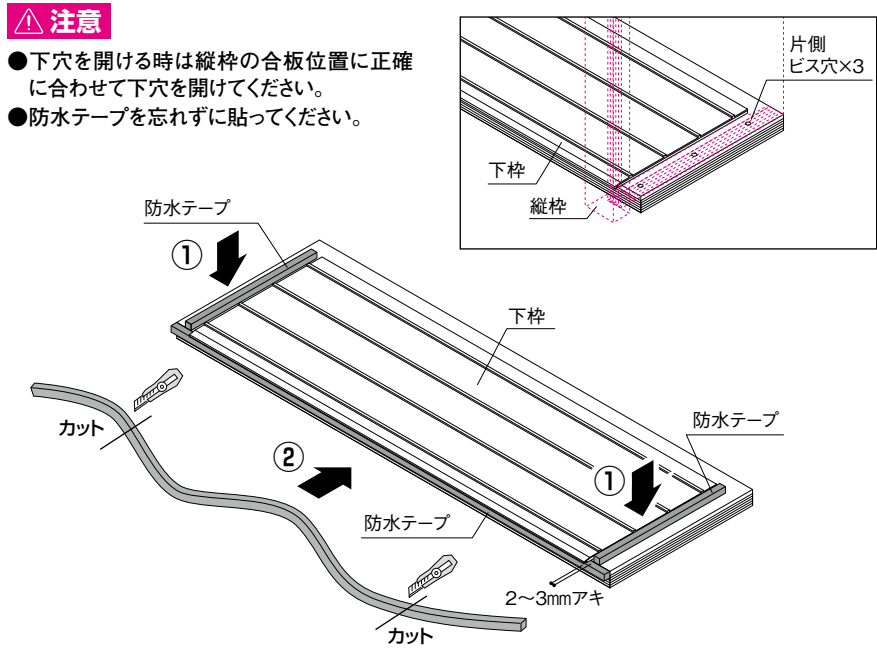


注意 ● 止水効果を高めるため必ず溝加工を施してください。

注意 ● 溝深さは樹脂部分の残る3mmまでとしてください。下地合板の深さまで溝加工すると止水効果が激減します。

4. 下枠に防水テープの貼付け

手順3の縦枠接合箇所①にφ2~2.5mmの下穴を開けた後、この縦枠接合箇所①と下枠の脱衣室床材突付け部分②に下図のように防水テープを切り分けて貼ってください。

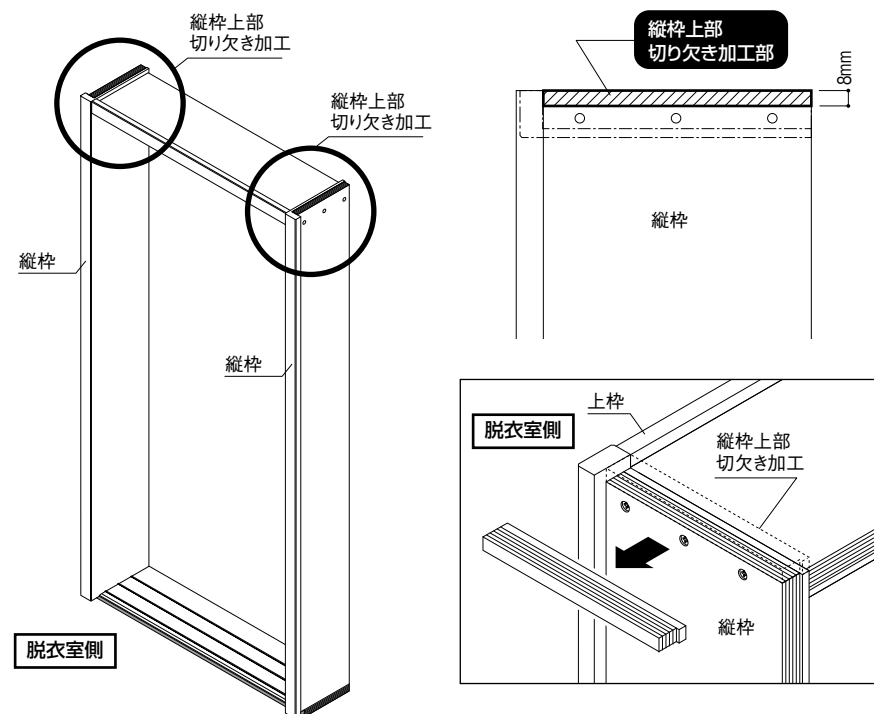


5. 枠組み、縦枠上部の切り欠き

長さ切断後の縦枠、上枠、下枠を枠組みします。ドリルで先穴(φ2~2.5mm程度)を開けて、枠組み用造作ビス(φ3mm程度)でビス止めしてください。
※ビス止め箇所はオモテ面 ■施工図を参照ください。

縦枠上部の切り欠き加工

上枠の取付け位置に合わせて縦枠上部(2箇所)の切り欠き(8mm)を施してください。



6. 接着剤塗布

UB枠URと接する木下地側全面に酢酸ビニル樹脂系接着剤または変成シリコン系接着剤をビード状に塗布し、枠組みしたUB枠UR(4方枠)を下地にはめ込んでください。

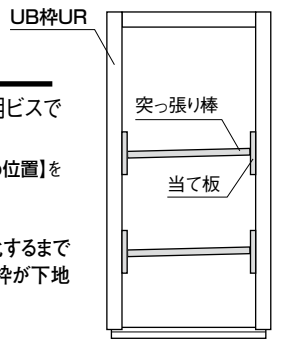
注意 ● ビード径は7~8mm程度としてください。
● 酢酸ビニル樹脂系接着剤でビード状になりにくい場合は、ヘラなどで厚めに塗り付けてください。

7. 下地材とのビス止め

取付け位置を確認後、木下地裏面または側面から枠止め付け用ビスでUB枠UR裏面と木下地をビス止めしてください。

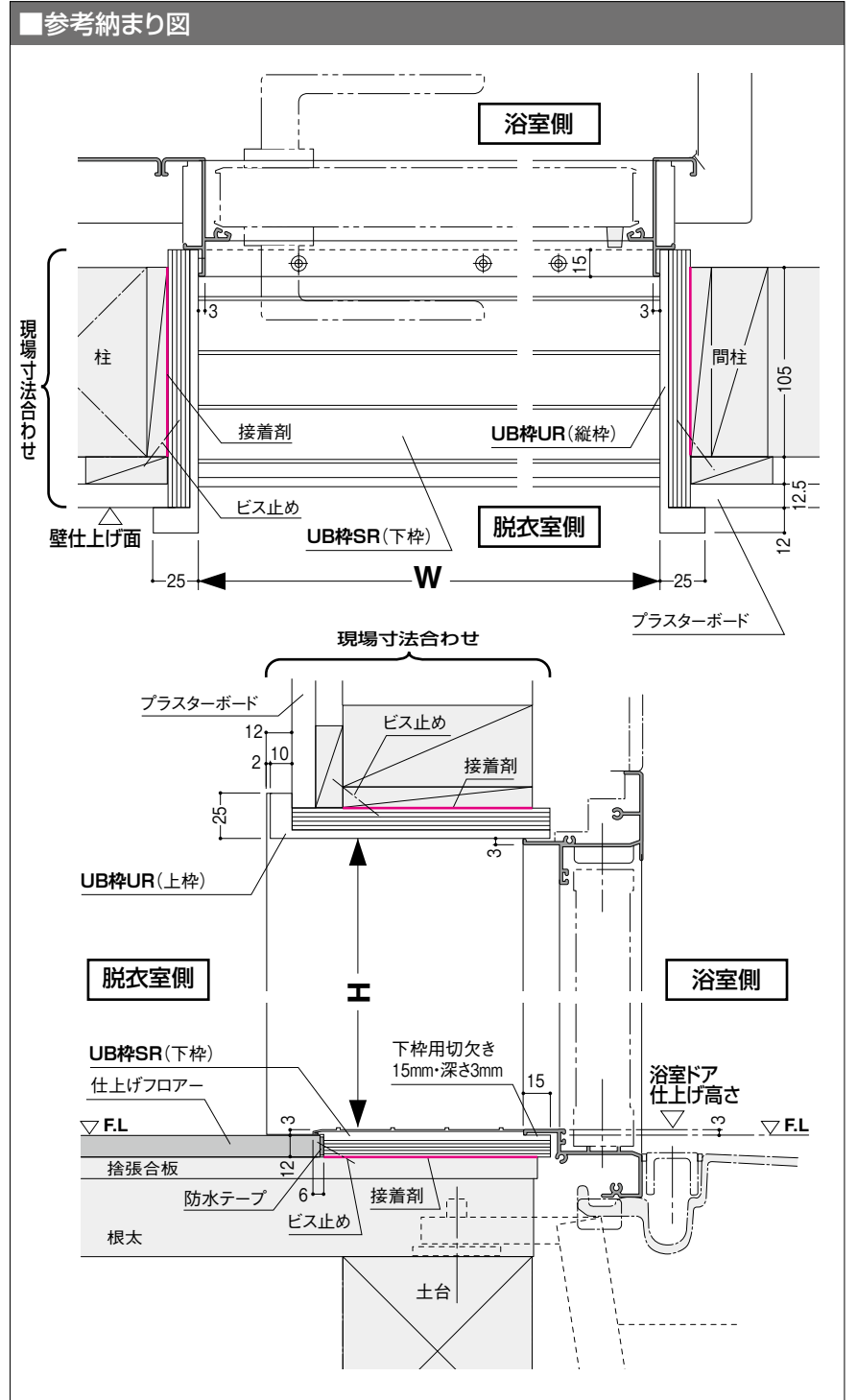
※ビス止め位置は【■施工図：上枠(縦枠)のビス止め/下地材とのビス止め位置】を参照ください。

注意 ● 木下地側からビス止めできない場合は、接着剤が硬化するまで(1~2日程度)突っ張り棒を使用(右図参照)してUB枠が下地から浮き上がらないように密着させてください。



8. 仕上げ

仕上げフロアを下枠に飲み込ませ、床を仕上げます。



本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
 東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332
 札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(028)636-3521
 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010
 静岡 ☎(054)288-3600 岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211
 福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1995-2980

<https://www.fukuvi.co.jp>